

タイムライン検討会について

【石狩川における事例】

タイムライン(試行用完成版)の読み方・見方①

- ①滝川市を運用主体とし、関係機関・団体・組織（以下、関係機関）との連携を示したタイムラインとした。
- ②危険度や防災対応行動に準じて「タイムラインの対応レベル（以下、TLレベル）」を5段階に設定した。
- ③試行・運用時には、タイムライン運用連携会議（仮称）を開催し、TLレベルの立ち上げ・移行及び今後の対応方針を調整する。
- ④防災行動は、「主な対応」「行動項目」「行動細目」の3階層の内容に分け、「備考」に補足説明を記載した。
- ⑤関係機関・組織内で完結する行動項目及び、各主体の具体的な行動（点検や調達等）は、各主体のマニュアルや計画で対応する。

石狩川・滝川地区水害タイムライン(試行用完成版)

[illegible]

タイムライン（試行用完成版）からの抜粋

【石狩川における事例】

・情報に関する項目について、◎は「情報等の発信元となる主体」 ○は「情報等を受信し、伝達する主体」
△は「情報を受け取る主体」を示す。

・防災行動に関する項目について、●は「行動の中心になる主体」 ▲は「行動の補助、支援する主体」を示す。

△：情報を受け取る主体

タイムライン（試行用完成版）からの抜粋